

レンジャーによる大阪南港野鳥園の管理運営

施設の管理業務			
開園準備業務	開園までの準備 (開園時刻 9:00)	開園前清掃	展望塔内 展望塔前広場 展望塔門扉周辺から駐車場までの歩道 駐車場 ゴミ回収(緑地内) ゴミ搬出(1回/週) トイレ清掃 展望塔1階 展望塔前 緑地内
		除草・剪定	随時
		外構施設点検	毎日 定期点検:1回/年、4回/年
		電気設備点検	毎日
		自動扉点検	毎日
		消防設備点検	防火管理者1名、防災実技講習修了者1名 毎日 業者による定期点検:2回/年 報告書受理対応 管轄消防署への報告:1回/3年
		機械設備点検	毎日 定期点検:月1回
		自然災害(台風、大雨、防風等)後の園内点検	自然災害発生時 約10回/年
		展望塔・駐車場の開門開錠	駐車場供用時間 9:00~17:00
当日のスケジュール確認	職員ミーティング		

開園時間内管理業務	開園時間内業務 (9:00 ~ 17:00)	園内巡回	3回 / 1日 事故発生時、適切対応及び関係者、大阪市港湾局へ報告
		電気設備点検	業者による定期点検：1回 / 年、4回 / 年 報告書受理対応
		自動扉点検	業者による定期点検：4回 / 年 報告書受理対応
		消防設備点検	業者による定期点検：2回 / 年 報告書受理対応 管轄消防署への報告：1回 / 3年
閉園準備業務	閉園準備 (閉園時刻 17:00)	閉門前清掃	展望塔内の清掃 展望塔内のゴミ回収
		閉園前点検	機械設備点検 来園者が展望塔内に残っていないかを確認
		機械警備セット 展望塔・駐車場の閉門施錠	機械警備 (17:00 ~ 翌 8 時、水曜日、12/28 ~ 1/4) 警報発生 10回 / 年 報告書受理対応 夜間事故発生現場対応 1回 / 4年
休園日対応	休園日対応業務	業者による展望塔定期清掃立ち合い	3回 / 年

展望塔での総務			
事務所内での 日常業務	報告書の作成と提出	日報の作成	
		月次報告書の作成提出	来園者数、観察指導状況、売上金、アンケート結果、「ひとことカード」結果等
		年度の野鳥園施設維持管理及び事業計画書の作成提出	各1回/年
		年度の野鳥園施設維持管理及び事業報告書作成提出	各1回/年
	金銭・鍵・郵便物の管理	売上金管理	釣銭資金 30,000 円 貸出双眼鏡売上年間約 80,000 円 固定望遠鏡売上年間約 120,000 円
		小口資金管理	小口資金 30,000 円 事務、清掃用品等、10,000 円を超えない 物品購入、年間約 15,000 円
		東日本大震災義援金管理	振込 1 回 / 年
		日本野鳥の会募金管理	振込 1 回 / 年
		郵便物等の管理	
		自動販売機クレーム処理	年 10 回 / 年
		事務（管理、集計）	出勤簿管理への記入
	鍵管理簿への記入		
	「ひとことカード」管理集計		1 回 / 月
	アンケート管理集計		1 回 / 月
	パソコンのメール管理		団体申込、問い合わせ等
	電話対応 専門知識を有する対応 (10~20回/日)	野鳥関係の問い合わせ	野鳥に関すること全般 野鳥救護のこと
		案内	野鳥園へのアクセス 展望等の利用について 潮の干満時刻

		受付	イベント申し込み 団体申し込み 小～大 学校：年間約 35 団体 子ども、老人、身障者関係団体...年間 約 40 団体 探鳥会他：年間約 60 団体
		マスメディア対応	施設案内等情報提供 野鳥に関する問い合わせ対応 合計年間約 50 件
その他	AED 設置	AED 使用講習 AED 点検 1 回 / 月 普通救命講習終了者 1 名、上級救命講習終了者 1 名	
	園内での事故の対処	事故の防止策や事故発生時（自殺者）の対処策の徹底を図る...年間数件	

一般来園者、各種団体、学校への対応		
窓口業務	窓口での施設案内	
	双眼鏡貸し出し（有料）	1台 200円（展望塔内でのみ使用可） 年間約 400台
	望遠鏡貸し出し（団体・無料）	卓上望遠鏡を団体利用の場合に限って無料貸し出し
	車椅子貸し出し（1台）	年間 3、4回利用
一般来園者対応	一般来園者への観察指導	野鳥園の環境（大阪湾の環境も含む）と野鳥についての説明 年間来園者数：約 110,000～120,000人 観察指導者数：年間個人約 11,000人、
団体対応	遠足等の団体への観察指導	野鳥についての説明 観察指導者数： 団体約 90団体 3,000人 小～大：年間約 35団体 子ども会／老人会／身障者関係団体：年間約 40団体
	国内外視察団への対応	要求に沿った説明 年間数件
	日本野鳥の会大阪支部への協力	定例探鳥会（毎月第4日曜日） 野鳥園での野鳥の出現情報の提供
環境学習・体験学習	環境教育プログラムの作成と更新	
	地元学校への対応 （南港ポートタウン内）	大阪市立南港桜小学校：体験授業・出前授業（1～2回／年）
		大阪市立南港北中学校：職場体験学習（2日×2回／年）
		大阪府立咲洲高等学校：10月～2月の授業 10回前後×2（午前・午後）
	大学インターンシップ生の受け入れ	大学インターンシップ生への指導 2009年8月1～31日、大阪産業大学人間環境学部1名
大阪市立大学工学部への協力	1回生への施設案内（1回／年）	

市民への情報発信や啓発		
	野鳥園のホームページの管理運営	野鳥園の紹介、野鳥出現情報、季節の話題、干満の状況、イベント案内などを毎日更新して発信（閲覧件数：年間約 300,000 件）
	「野鳥園だより」の作成と発行	季節の話題、野鳥情報、イベント案内などを掲載（年 4 回、1,000 部発行） 行政機関、関連施設、関連団体に配布 大阪市交通局「住之江公園」, 「トレードセンター前」, 「コスモスクエア」駅に設置配布
	野鳥園の写真倶楽部の写真展示	野鳥園とその周辺で来園者が撮影された写真を展示、月更新
	PC野鳥博士	展望塔に設置したパソコンを利用したデジタル図鑑の作成、運用、更新
	展望塔内の展示物の作成と更新	ポスター、ちらし、観察シートの作成 窓に設置の野鳥観察ガイドの作成、更新
	野鳥被害への啓発	不法投棄された釣り針・テグスによる野鳥への被害に対する啓発活動（ポスター展示）

干潟および湿地の管理				
現状把握と事前調査に基づく湿地・干潟の管理	日頃からの現状把握と環境監視	鳥の利用状況の調査	野鳥が干潟や湿地をどのように利用し、何を食べているのか	
		干潟のどこが良好でどこが悪化しているかを把握	野鳥や生きものの視点から調べる	
		シギ・チドリ類を主とした水鳥の調査（毎日）	種別の個体数調査と干潟利用状況や食性の調査	
		干潟・湿地の地形図の作成	毎年の港湾局の地盤沈下測量データに基づく ^{注)}	
		干潟や塩性湿地の生きものの分布調査（年4回）	プランクトン、魚類、底生生物、植生など	
		重要保全エリアの設定（湿地管理の際は立ち入らない）	絶滅危惧種（ハクセンシオマネキ、オオノガイ他）の生息エリアの特定	
		立入禁止区域の護岸や干潟・湿地内への侵入者の監視と警告：随時（2013年10月時点で防波堤への侵入者は減少しているが、年間20回以上の侵入者に対する警告はある）		
	作業実施計画策定のための事前調査	干潟や湿地のどこをどのように手入れすれば有効かを、事前に干潟に入って調査し、その方法を決定		
	作業内容（人手による手入れ）	作業道確保	作業に入るときに、干潟や湿地の生きものに影響が無い場所に作業道をつくる	
		人手による管理作業（年によって内容変更）	植栽剪定、除草、ヨシ刈り、漂着ゴミ回収、干潟の澁筋作り、底生生物のすみかづくりほか	
		重機での管理作業（行政と別途協議して検討）	干潟の改修工事、台風など自然災害による復旧工事ほか	
	湿地および周辺の清掃（市民や企業の協力）	企業 CSR（積水化学工業、近鉄百貨店、ティンバーランド、三井住友海上火災保険、JTB 西日本教育旅行、東京三菱 UFJ 信託銀行、情報労連大阪地区協議会、連合大阪他）	アオサ除去または漂着ゴミ回収と自然観察会 事前打ち合わせ・事後処理（ゴミ回収）	
		地元ボーイスカウト・カブ隊	アオサ除去または漂着ゴミ回収と自然観察会 事前打ち合わせ	
大阪市港湾局海務担当「リフレッシュ瀬戸内」、大阪市港湾局海務担当「クリーンアップ・キャンペーン」、海上保安庁第五管区「大阪湾クリーン作戦」などにも協力				

注) 地盤沈下の測定は、2006年までは年1回港湾局が業者に委託し、その測定結果は年2回実施の行政との懇談会で配布されていた。

振興事業の企画と実施、各種団体や大学との連携・協力活動		
振興事業業務	<p>振興事業開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南港生きもの発見隊（自然観察会、生きもの調査等） ・南港生きもの育て隊（環境保全活動） <p>両事業で年間 10 回以上開催</p>	<p>振興事業企画（実施までの準備期間：約 1 ヶ月）</p> <p>広報 住之江区「さざんか」 / 大阪市総合生涯学習センター 等</p> <p>イベント保険加入</p> <p>振興事業申込受付 / 個人情報管理</p> <p>振興事業実施（準備、実施、後片付け）</p> <p>振興事業・アンケート集計</p>
連携・協力業務	環境省のモニタリングサイト 1000 の重要サイト（シギ・チドリ類）としての連携業務	<ul style="list-style-type: none"> ・シギ・チドリを主とした生息調査結果を毎年報告（春：4～5月、秋8～9月、冬：12～2月、毎日） ・年 1 回の交流会への協力
	東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップに基づくシギ・チドリ重要生息地としての連携業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークのメーリングリストによる各種情報発信 ・フライウェイへの参加主体である国際的 NGO の WWF、国際湿地保全連合、バードライフインターナショナルからの情報提供依頼への対応（随時） ・フライウェイのサイトで標識されたシギ・チドリ類の確認と報告および野鳥園の HP への情報掲載 ・シギ・チドリ類や干潟に関する普及啓発活動、とくに絶滅危惧種のヘラシギ保護国際プロジェクトへの協力（市民への参加依頼） ・アンケート（調査状況、湿地の現況、保全等関する）に回答
	大阪府ガンカモ類生息一斉調査	ガンカモ類全国一斉調査として、1月中旬に 1 回
	大阪市立大学 大学院工学研究科 都市工学系との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の研究協力 ・研究成果の発表会（共同開催） ・調査データの共有 水・底質等の監視 ・関係学会への協力、野鳥園の紹介発表

大阪市立自然史博物館との連携	特別展、バードフェスティバルへの協力
国内外の他の類似観察施設や自然保護団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換（情報誌の交換、メールでの情報交流） ・ 調査、保全活動、普及活動に協力 ・ 環境保全の手法等について勉強会や交流会
大阪湾再生推進会議との協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省近畿地方整備局に協力 ・ 「大阪湾再生行動計画」に基づいた連携 ・ 大阪湾生き物一斉調査 ・ 大阪市立自然史博物館、大阪湾岸関連施設との連携 他
大阪市立科学館との連携	大阪湾の屋気楼についての研究（年間）
大阪市立天王寺動物園との連携	情報紙の設置（年6回発行）野鳥写真の提供
大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大阪府油等流出事故時野生鳥獣救護要領」（2008年3月発行）の救護体制に係る連携 現在のところ大阪湾での油等流出事故は発生していない

行政との連絡調整		
	大阪市港湾局	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部監理調整担当集客施設グループとの連絡調整 ・総務部総務担当コンプラ・広報・姉妹港グループとの連絡調整
	大阪市環境局	環境施策部環境施策課 大阪市立小学校の低学年・高学年 / 中学校副読本「おおさか環境科」の件 環境管理部環境規制担当 環境技術研修（生物多様性コース）に協力
	大阪市交通局	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線情報に関する情報提供 ・南港エリア内の駅（トレードセンター前駅等）に迷いこんだ野鳥の保護
	住之江区、住吉区、港区、大正区、西区	広報活動（リーフレット設置、写真展等）

緑地の管理		
除草・低木剪定	NPO 法人南港ウェットランドグループが協力	野鳥生息環境に配慮した除草の指示 来園者の安全利用に配慮した除草の指示
業者による除草 1回（3日間）/年	除草箇所と方法の指示	野鳥生息環境に配慮した除草指示 来園者の安全利用に配慮した除草指示
業者による樹木の剪定 1回（5日間）/年	剪定箇所と方法の指示	野鳥生息環境に配慮した剪定指示 来園者の安全利用に配慮した剪定指示
害虫駆除	注意：来園者に大きく被害を与えるチャドクガ、イラガなどの害虫の大発生時以外は農薬を使用しないこと	